

中道範人 Norihito Nakamichi

名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所 (ITbM) 特任准教授

Email address: nnakamichi@itbm.nagoya-u.ac.jp



【専門】 植物生理学、時間生物学、生物情報学

1978年1月30日 静岡県生まれ： 私立浜松日体高等学校卒業

2000年3月 名古屋大学農学部応用生物科学科卒業 (水野猛教授)

2005年3月 名古屋大学大学院生命農学研究科博士過程後期修了 博士(農)取得 (水野猛教授)

2006年-2007年 日本学術振興会 特別研究員 名古屋大学大学院理学研究科 (近藤孝男教授)

2008年-2010年 理化学研究所 基礎科学特別研究員 (榊原均グループリーダー)

2011年-2012年 名古屋大学大学院生命農学研究科 特任助教 (水野猛教授)

2013年- 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 特任准教授 (木下俊則教授)

【プロジェクト、官公庁委員、編集委員など】

2011年-2014年 JSTさきがけ「二酸化炭素資源化を目指した植物の物質生産性強化…領域」研究代表者

2015年-2017年 植物生理学会広報幹事

【受賞】

2003年 BBB論文賞、2014年 日本植物生理学会奨励賞、2015年 日本時間生物学会奨励賞、

2017年 文科省若手研究者賞

【趣味】

スイカ作り、子供と野球

主な研究テーマと成果

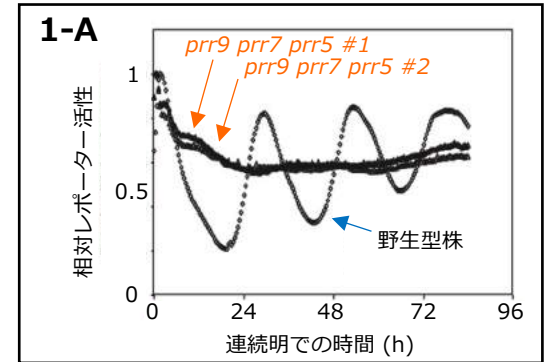
1. 植物の時計関連遺伝子群の解析

Plant Cell and Physiology **2005**, 46, 686;

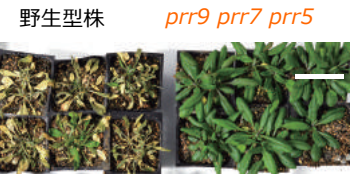
PNAS **2009**, 106, 7251; *Plant Cell and Physiology* **2009**, 50, 447;

Plant Cell **2010**, 22, 594; *Plant Cell* **2011**, 23, 486.

- 3つのPRR遺伝子が植物時計に必須であることを見出した(図1-A).
- PRR多重変異体では時計出力が劇的に変化することを報告(図1-B).
- PRRタンパク質に転写抑制活性があることを発見した(図1-C).



1-B 乾燥ストレスへの耐性テスト



1-C PRRタンパク質 (PRR9, PRR7, PRR5)



2. 植物の転写制御ネットワークの解析

PNAS **2012**, 109, 17123; *EMBO J* **2015**, 34, 1992;

Plant Cell **2016**, 23, 486.

- 植物における転写調節因子の標的遺伝子群をゲノムワイドに明らかとする実験および解析方法論を確立した (図2-A, B).

